

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ローディー実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:18年 レコーディングメインのフリーのギターテックに師事。ギター、ベースを中心に、楽器の調整から音作りまで、現場で必要な知識を学ぶ。ロックバンド、ソロアーティスト、俳優、声優、アイドル、など、ジャンルや国内外を問わず幅広く活動中。				
授業概要					
弦交換、実践的な調整技術、回路の知識、メンテナンス技術、楽器の構造、結線の仕組みシステムの構築などの習得。					
到達目標					
様々なプロとしての技術を身につけ即戦力になる人材育成。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ギター・ベースの調整 弦交換とチューニング ピックアップと回路について
【前期】 11～20回目	MIDIについて 真空管について エフェクト接続順番応用編
【前期】 21～30回目	ヒューズの種類 LOOPについて
【前期】 31～40回目	プリアンプについて スピーカーインピーダンスの復習
【後期】 1～8回目	メーカー名、会社名を正確に覚える。 各自エフェクトボード作成 センドリターンを含んだシステム構築
【後期】 9～16回目	システムマルチケーブル作成 ワイヤレスシステム
【後期】 17～24回目	マルチエフェクター アコースティックギター
【後期】 25～32回目	PresenceとResonance ラックエフェクター
【後期】 33～40回目	MIDIコントローラー LIVE現場の資料作成 スイッチング実践
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(先輩として後輩の模範となる様に) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	分野別講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:20年 楽器構造の原理に着目し新商品の開発にも従事するオールラウンドローディー 温故知新・日進月歩で機材に取り組んでいる。アーティストからの問合せが絶えない。				
授業概要					
キーボード、ドラム、PAシステム、MIDIの基礎、デジタルオーディオについて、ラックの組み方等、現場におけるバンドスタッフ・ローディーの周りの業務について学ぶ。					
到達目標					
バンドスタッフ・ローディー周りの業務の理解、総合力、応用力の向上					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ミキサーを使ったキーボードセッティング ミキサーの適正インプットレベルを知る 音色データのセーブとロード、プログラムの最小単位と音色の管理
【前期】 11～20回目	基本的なドラム演奏を身につける。様々なドラム用アクセサリについて ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化を知る。
【前期】 21～30回目	ミキサーの機能を知る。 プログラムチェンジ、コントロールチェンジ。MIDIの応用
【前期】 31～40回目	マッピングで任意の設定 MIDIの規格、DIN規格のピン数や繋がっている配線
【後期】 1～8回目	CC等のメッセージ信号 MTRとDAWを体験する。バンドを組んで多重録音。
【後期】 9～16回目	デジタル録音の仕組み 様々な工具(特殊工具含む)正しい使い方
【後期】 17～26回目	楽器の省略記号、基本用語、図面を書く 大型ラックの組み方や配線方法
【後期】 27～34回目	ノイズを極力抑えたシステム構築 一日の流れ、ツアーとフェス、現地楽器の違い
【後期】 35～40回目	機材の清掃 ホコリの除去や、残っているテープ痕の取り方等
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(先輩として後輩の模範となる様に) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	楽器概論Ⅱ		授業形態/必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 楽器構造の原理に着目し新商品の開発にも従事するオールラウンドローディー 温故知新・日進月歩で機材に取り組んでいる。アーティストからの問合せが絶えない。				
授業概要					
ドラムのセッティング、メンテナンス、真空管、ヒューズ、LOOP、プリアンプ等の楽器および音が出るまでの機材について学ぶ。					
到達目標					
セッティング精度やメンテナンス技術の向上、現場での連携の合理化、それらを合わせたローディー技術の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	各種ドラムヘッドの特徴を知り各メーカーのパーツの違い ドラムのチューニング、分解清掃、ドラム用アクセサリ、ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化
【前期】 11～20回目	真空管の基礎、パワー管、プリ管、整流管の代表的なチューブ、6550=KT88 ヒューズの交換方法、スローブローとファストブローの違い、形状、アンペア数の確認
【前期】 21～30回目	LOOPの原理を知り原音信号の走り方、LOOPを通る信号の経路、LOOPを使ったアン プチャンネルの切り替え 複数のエフェクトを使用したシステム作成、シリーズ接続
【前期】 31～40回目	パワーアンプ部へ信号を伝える為の増幅器機と強調 AGのプリアンプ、アクティブベースのEQ部分、ブースト機能搭載機
【後期】 1～8回目	インピーダンスの計算方法、Ω数表記と実機、正相と逆相
【後期】 9～16回目	アンプ、エフェクターではない、他ジャンルのメーカーの正式名称 エフェクターボードを作成し音出し
【後期】 17～24回目	コンパクトエフェクトを使用した歪みを作り 空間系エフェクトをセンドリターンへ接続しコントロール
【後期】 25～32回目	レベルの取り方やケーブルの接続(MIDIとアンプコントロール) LOOPコントローラーよりアンプへ出ているシールドや、MIDIケーブルをまとめる作業
【後期】 33～44回目	ジャンクションボックス(DI)等、シールドの出て来る位置を想定し転換時にも役立つ ケーブル処理とバミリ方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(先輩として後輩の模範となる様に) 支給i-Pad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目                 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 レコーディングメインのフリーのギターテックに師事。ギター、ベースを中心に、楽器の調整から音作りまで、現場で必要な知識を学ぶ。ロックバンド、ソロアーティスト、俳優、声優、アイドル、など、ジャンルや国内外を問わず幅広く活動中。				
授業概要					
重量物の取り扱い方、エフェクト周りの結線、複雑な仕組みのシステム構築、実際のセッティング、A/B BOX等の製作等について学ぶ。					
到達目標					
舞台に関する実践的な知識、技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	重量物の取り扱い方 アンプの歴史 アンプの基本操作 ・IN OUTの基本の説明とEQ部分について ・アンプの歴史と基本操作
【前期】 11～20回目	アンプの歴史 アンプの基本操作 ・スタックアンプ(SPケーブル接続)コンポアンプ、エフェクターボード配線 エフェクターの基本
【前期】 21～30回目	インピーダンスについて ・ハイインピーダンスとローインピーダンスの違い ・スピーカーユニットのインピーダンスの測定方法
【前期】 31～40回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・立ち位置に対するアンプ位置 ・2バンド分の機材を転換
【後期】 1～8回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・企画ライブシミュレーション ・トラブルシューティング
【後期】 9～16回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・転換実習 ・ギターチェンジ ・ケーブル介錯 ・ハイエース積み込み
【後期】 17～24回目	半田付け作業 ・A/B Boxの作成～パーツ、仕組み ・ソルダーレス・シールドの作成、ギターサーキットの内部構造
【後期】 25～32回目	半田付け作業 ・オーバードライブの作成 エフェクターの電源種類
【後期】 33～44回目	エフェクターボード作成 ・ボードの利便性、エフェクターの省略表記 ・固定方法、ケーブル処理、踏み易さや収納考察
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(先輩として後輩の模範となる様に) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座Ⅱ	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック 鍵盤・竿物もこなすマルチテック 技術向上に常に向き合っている。				
授業概要					
PCを使用する現場に必要なプロット・セット図等の資料作成方法を学ぶ。					
到達目標					
現場に必要なあらゆる情報、知識の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ステージプロットの作成
【前期】 11～20回目	セットリスト作成 タイムテーブル作成
【前期】 21～30回目	ギターアンプ周りのセッティング図作成
【前期】 31～40回目	ベースアンプ周りのセッティング図作成
【後期】 1～8回目	キーボードのセッティング図作成
【後期】 9～16回目	ドラムのセッティング図作成
【後期】 17～26回目	アーティスト引き継ぎ資料の作成
【後期】 27～36回目	DAW関連 アンサーシートの書き方
【後期】 37～42回目	請求書の作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ローディー実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目                 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布